

# 犬も、暖かく暮らしたい！

新年初の「家さがし」は、干支にちなんで愛犬のための暖かい環境づくりを特集。  
寒い冬は、人間だけでなく、大切なペットにとっても厳しいものです。  
ちょっとした工夫で、居心地のいい場所を用意してあげましょう。

## 01 犬が寒さに強いとは限りません

一般に犬は寒さに強いといわれています。実際、犬の体温は小型犬で38.6～39.2℃ほど、大型犬では37.5～38.6℃ほどあり、人間よりも高い分、寒さに耐性があると考えられます。とはいえ、犬の種類や年齢によってはそうとも言いきれません。飼っている犬に合った寒さ対策を施してやる必要があります。

比較的寒さに強いとされているのは、毛が長く、毛の層が上毛と下毛の二層構造になっているダブルコートと呼ばれる犬種。大型犬や北国原産の犬にも、その傾向があります。

一方、毛が短く、シングルコートで南国原産、小型犬となれば、寒さは要注意です。

シングルコートの犬には、チワワ、マルチーズ、ミニチュアダックス、プードル、ヨークシャーテリア、ボクサー、グレーハウンド、グレートデンなどがいます。

| シングルコートの犬(例)                                                                        |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| チワワ                                                                                 | マルチーズ                                                                               | ミニチュアダックスフンド                                                                        | プードル                                                                                |
|  |  |  |  |
| ヨークシャーテリア                                                                           | ボクサー                                                                                | グレーハウンド                                                                             | グレートデン                                                                              |
|  |  |  |  |

## 02 室内犬はケージにひと工夫

まずはケージの置き場所をチェック。暖かそうだからといって、直射日光の射す場所にケージを設置するのは避けましょう。フローリングの床の上も、ケージから出た犬が滑ってしまうので、あまりオススメはできません。

次に、ケージを暖かく保つための対策です。ケージを置くお部屋が24時間暖房されている場合以外は、寒さを防ぐ手だてが必要になります。ケージと壁との間に段ボールを挟んだり、ケージの上から覆いかぶせるように毛布などを掛けたりするだけで、グッと暖かさが違います。また、ケージの中にもフリース素材のものを入れてあげるといいでしょう。

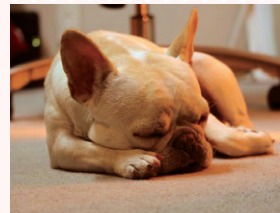


## 03 極寒時にはヒーターも使いましょう

極寒時には、ヒーターを設置するのも一つの方法です。犬専用のヒーターを利用しましょう。ヒーターを設置するときに注意しなければならないのは、犬がヒーターのない場所に移動できるようにすること。そうしておかないと、逆に暑さでグッタリということになってしまいかねません。

また、一般の暖房器具を使用する場合は、周囲に柵を設けて犬が火傷をしないように気をつけましょう。もちろん、火事の恐れがあるものを使うのは厳禁です。

お部屋を暖め過ぎないようにすることも大切です。空気が乾燥すると呼吸器を痛めるので、加湿にもしっかりと気を配ってください。



## 04 屋外で飼っている犬の寒さ対策

屋外で飼っている場合、まず犬小屋は日当たりのよい場所に設置します。風があまり吹かないところだとなお良いでしょう。犬小屋に隙間があって、そこから風が入り込んでくる場合は、板や段ボールを使って隙間をふさいであげます。

犬小屋の中には、フリースなどの暖かい布を敷きます。さらに犬用の湯たんぽというものも売られているので、活用するといいでしょう。降雪時や極寒時には玄関に入れてやり、段ボールの上に布を敷いて寝床にしてあげるなどの工夫も必要です。

食事も屋外で飼う場合は冬場のみ量を少々増やしてあげましょう。

